

# 大豆管理情報

令和3年7月15日  
JA福井県坂井基幹支店  
坂井農林総合事務所

- ◎圃場が十分乾いてから、株元の草が隠れるように培土を行きましょう。
- ◎培土後は、夕立や台風などのゲリラ豪雨に備え、排水側、額縁排水のつなぎを徹底しましょう。
- ◎残った雑草に除草剤散布を行きましょう。
- ◎基幹防除は必ず行い、病虫害防除を徹底しましょう。

## ● 雑草対策 ●

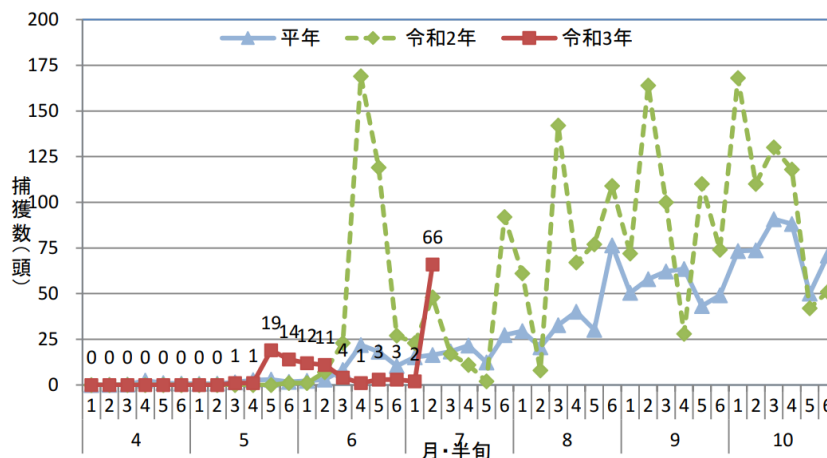
圃場に見られる雑草	除 草 剤	10a 当りの使用量など
●タデなど <b>広葉雑草</b> が多い場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大豆バサグラン液剤（Na塩） 雑草生育初期～6葉期 大豆2葉期～開花前まで 収穫45日前まで 使用回数1回</li> </ul>	100～150ml/100畝 雑草茎葉散布又は全面散布 イネ科雑草に効果なし
●ヒエなど <b>イネ科雑草</b> （3～10葉期）が多い場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポルトフロアブル 雑草生育期 イネ科雑草3～10葉期 収穫30日前まで 使用回数1回</li> </ul>	200～300ml/50～100畝 雑草茎葉散布又は全面散布
● <b>広葉雑草とイネ科雑草が混在</b>  <u>除草剤が大豆にかからないように注意</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・□ロックス 大豆本葉3葉期以降雑草生育期 （雑草の草丈15cm以下） 収穫30日前まで 使用回数1回</li> </ul>	100～200g/70～150畝 雑草茎葉兼土壤散布 畦間・株間処理
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスタ液剤 雑草生育期 収穫28日前まで 使用回数3回以内</li> </ul>	300～500ml/100～150畝 雑草茎葉散布 畦間処理 *株間処理（本葉5葉期以降）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラウンドアップマックスロード 雑草生育期 落葉終期～収穫14日前まで 使用回数2回以内</li> </ul>	500ml/50～100畝 雑草茎葉散布
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブリグロックスL 雑草生育期 収穫3日前まで 使用回数4回以内</li> </ul>	600～1000ml/100～150畝 雑草茎葉散布 畦間処理（雑草の草丈30cm以下）

\*収穫前使用日数などに注意して散布してください。

\*周辺の水稲へ飛散しないように注意して散布してください。

# ●基幹防除の徹底●

ハスモンヨトウ(場内)【～10月末】



「里のほほえみ」は、葉色が濃くなりウコンノメイガの被害を受けやすいため、幼虫が大豆の葉を巻き始める7月末～8月上旬に防除が必要です。

農業試験場の発生予察で、ハスモンヨトウの発生も確認され始めています。

防除は朝夕風のない時間帯に、薬剤が莢に充分付着するように行いましょう。

防除時期	対象病害虫	薬剤名	使用方法
基幹防除 (里のほほえみ) 7月末～ 8月初め	ウコンノメイガ マメシクイガ アブラムシ類	サイアノックス粉剤	4kg/10a 収穫7日前まで 使用回数2回まで
	ウコンノメイガ ハスモンヨトウ マメシクイガ 他	プレバソンフロアブル 5	4,000倍 収穫7日前まで 使用回数2回まで
基幹防除① 開花～若莢期 (8月中旬末)	紫斑病 マメシクイガ カメムシ類	Zボルドートレボン粉剤 DL	4kg/10a 収穫14日前まで 使用回数2回まで
		アミスタートレボンSE	1000倍 8倍(無人ヘリ対応) 使用回数2回まで
基幹防除② 若莢伸長期 (8月末)	ヨイヅダガラムシ カメムシ類 フタスジヒメハムシ ハスモンヨトウ 他	ダントツH粉剤 DL	3～4 kg/10a 収穫7日前まで 使用回数3回まで
		カスケード乳剤	4000倍 32倍(無人ヘリ対応) 収穫7日前まで 使用回数2回まで
基幹防除③ 子実肥大後期 (9月上旬)	ヨイヅダガラムシ カメムシ類 フタスジヒメハムシ ハスモンヨトウ 他	トレボン粉剤 DL	4kg/10a 収穫14日前まで 使用回数2回まで
		カスケード乳剤	4000倍 32倍(無人ヘリ対応) 収穫7日前まで 使用回数2回まで

